

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	児童文学研究				
担当者氏名	岡 美佳				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	3年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

「注文の多い料理店」「やまなし」など宮沢賢治の作品は、小学校の教科書に取り上げられるなど、童話、児童文学として享受される一方、近代文学の立場から多数の研究の蓄積がなされている。宮沢賢治は、童話、児童文学と近代文学の二面から享受されてきた作家であることをその特質として挙げる事ができよう。本講義では、このような宮沢賢治の作品を、一人読み、ディスカッションを通して、深く読んでいくことにする。

《授業の到達目標》

各作品について、他の受講者の読みを共有しつつ、叙述に即した自分の読みや見解をまとめ、文章で表現する。

《成績評価の方法》

授業に対する貢献度（積極的な発言、円滑なディスカッション進行に対する貢献等）20% 授業内で指示した提出物・ノート提出30% 期末レポート50%

《テキスト》

宮沢賢治『新編 銀河鉄道の夜』新潮文庫（授業内で毎時間用いるため、必ず用意すること）

《参考図書》

宮沢賢治についての参考文献は多数あるので、図書館等で閲覧するとよい。また、CiNiiで宮沢賢治や各作品に関する学術論文を検索、閲覧することも可能なので、積極的な活用が望まれる。

《授業時間外学習》

各回に取り上げる作品について、読んだ上で気になる点や箇所を挙げておくこと。また、授業外で各作品や時代背景等について調べる必要がある場合がある。

《備考》

授業内容や自分が調べたこと、考えたことを記録するノートを作成すること。時々提出を求める。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の進め方の説明
2	宮沢賢治について	宮沢賢治の伝記事項とその時代を知る
3	「よだかの星」(1)	一人読み、作品に関する資料調べを通して、各人の読みをまとめる
4	「よだかの星」(2)	ディスカッションにより、各人の読みを受講生全体で共有することを通して、さらに読みを深める
5	「シグナルとシグナレス」(1)	一人読み、作品に関する資料調べを通して、各人の読みをまとめる
6	「シグナルとシグナレス」(2)	ディスカッションにより、各人の読みを受講生全体で共有することを通して、さらに読みを深める
7	「オツベルと象」(1)	一人読み、作品に関する資料調べを通して、各人の読みをまとめる
8	「オツベルと象」(2)	ディスカッションにより、各人の読みを受講生全体で共有することを通して、さらに読みを深める
9	「猫の事務所」(1)	一人読み、作品に関する資料調べを通して、各人の読みをまとめる
10	「猫の事務所」(2)	ディスカッションにより、各人の読みを受講生全体で共有することを通して、さらに読みを深める
11	「銀河鉄道の夜」(1)	一人読み、作品に関する資料調べを通して、各人の読みをまとめる
12	「銀河鉄道の夜」(2)	ディスカッションにより、各人の読みを受講生全体で共有することを通して、さらに読みを深める
13	「ゼロ弾きのゴーシュ」(1)	一人読み、作品に関する資料調べを通して、各人の読みをまとめる
14	「ゼロ弾きのゴーシュ」(2)	ディスカッションにより、各人の読みを受講生全体で共有することを通して、さらに読みを深める
15	まとめ	これまでの授業を振り返って、宮沢賢治やその作品について考える